

「“創”義歯の実力」

欠損補綴の様々なオプションの中で、デンチャーは多くのポテンシャルを持ちながらも、近年その“実力”以下に貶められてきたことは、残念ながら事実である。

“超”高齢社会における欠損補綴のボリュームゾーンはデンチャーに他ならないが、それは少数歯残存の多数歯欠損の傾向にある。

そこで新しい時代に対応するための基礎はいかなるものか？具備する条件を提示してみる。